

民族主義と普遍主義のはざままで ～旧約聖書から国際平和を考える

講師 月本 昭男 (上智大学特任教授)

人類の歴史は戦争の歴史である、と言われることがある。戦争を引き起こす要因は時代や地域により様々であるが、偏狭な民族主義や排外的な国家主義がそれに深く関わり、宗教信仰がそこに重なることが少なくない。だが、その一方で、平和を願わない人はいない。なかでも宗教とよばれる営みは、人類という立場から、諸民族の平和と調和を希求し、人々の平安と安寧を約束する。平和への祈りは地球上のいたるところで捧げられている。

本発題においては、戦争の要因になりかねない偏狭な民族主義と諸民族の平和を希求する普遍主義とが拮抗する模様を旧約聖書にあとづけてみたい。旧約聖書は後のユダヤ教の基礎となり、キリスト教成立の土壌となり、イスラムにまで大きな影響をおよぼすことになるが、これらの宗教が古代イスラエルという弱小民族の残したこの書から何を学び取ったのか、ということに思いを馳せながら。

日時 2018年 **6月30日** (土) 13:30～17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300 円、学生 1,000 円 (コーヒー込み)

要申込み 6月27日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込み下さい。



月本 昭男 つきもと あきお

1948年、長野県に生まれる。新島学園高等学校(安中)、東京大学、ドイツ・テュービンゲン大学に学ぶ。専攻分野は宗教史、旧約聖書、古代オリエント。立教大学(1981～2014年)を定年退職後、上智大学神学部で旧約聖書、古代イスラエル史、聖書考古学を教える。

著書:『目で見える聖書の時代』(日本キリスト教団出版局)、『古代メソポタミアの神話と儀礼』(岩波書店)、『旧約聖書に見るユーモアとアイロニー』(教文館)、『この世界の成り立ちについて』(ぷねうま舎)、『詩篇の思想と信仰I～IV』(新教出版社)、『物語としての旧約聖書(上)』(NHK出版)、など。

訳書:『ギルガメシュ叙事詩』、『創世記』、『エゼキエル書』(いずれも岩波書店)、など。

経堂聖書会 (<http://www.kyodo-seisyokai.sakura.ne.jp/>) 所属

◎スケジュール◎

- 13:30～15:00 発題講演
 15:00～15:30 コーヒーブレイク
 15:30～17:30 質疑とはなしあい



2018年度 修学院フォーラム これからの予定

「社会」 第1回 4月21日(土)

<宗教と戦争を考える5>

「新渡戸稲造の平和」

講師：佐藤 全弘（大阪市立大学名誉教授）

第2回 5月12日(土)

「東アジアの平和と和解—近代日本人のアジア認識と平和の取り組みの可能性」

講師：山本 俊正（関西学院大学商学部教授・宗教主事）

「いのち」 第1回 7月7日(土)

<老いの日をいかに生き、支えるか 第2回>

「往きの医療 vs 還りの医療」

—わたしたちはどんな死に方をしたいのか?—

講師：島田 宗洋（救世軍清瀬病院名誉院長）



「福祉」 第1回 6月9日(土) 共催：京都YWCA

「若者の貧困」(仮)

講師：藤田 孝典（(特活)ほっとプラス代表理事、聖学院大学人間福祉学部客員准教授、社会福祉士）

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長 榎本 栄次

担当 都木かおり

【会場へのアクセス】



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

—————2018年度 修学院フォーラム「社会」第3回 参加申込書—————

(フリガナ)			
名前	所属		
住所〒			
電話 ()	—	FAX ()	— 携帯 ()
電子メール:	@		
通信欄:			